

安全対策／駅

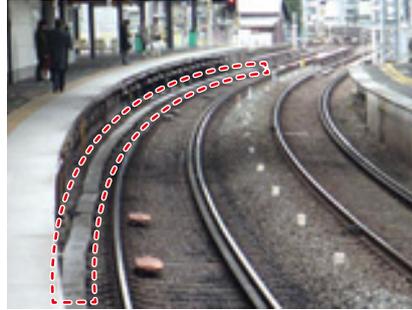
ホーム異常通報装置
(転落検知装置)

お客さまがホームから軌道に転落された時などに、列車を停止させるための通報装置です。ホーム上に設置された非常通報ボタンを押すと、乗務員および駅係員に特殊信号発光機や警報ランプ、警報サイレンで異常を知らせて事故を未然に防止します。京阪線30駅、大津線26駅に設置しています。



▲ホーム異常通報装置

また、駅ホームが急な曲線で電車とホームのすきまが広い場所では、お客さまが軌道に転落されても同様に異常を知らせるための検知マットを、京阪線4駅、大津線1駅に敷設しています。



▲ホーム転落検知装置

列車接近表示器

耳の不自由なお客さまに列車の接近・通過をお知らせする装置で、通過列車の場合には、文字が点滅して注意を喚起します。京阪線45駅、大津線7駅に設置しています。

※行先表示器に組み込まれている場合も設置駅として含めています



▲列車接近表示器

ITV(監視用テレビ)装置

曲線ホームなど、見通しの悪い箇所では乗降されるお客さまの状況を監視し、扉事故を防止するためのものや、エスカレーター・エレベータの乗降口を監視し、お客さまが安全に駅をご利用いただいているかを確認するためのものがあります。

また、駅構内のさまざまな場所にカメラを設置することで、犯罪事件の抑止効果を図る狙いもあります。



▲ITV装置

戸閉合図装置

駅係員から車掌に列車の扉を閉める時機を知らせる装置で、京阪線13駅に設置しています。ラッシュ時やイベント開催の多客時などに使用され、扉開閉時の事故防止に役立っています。



▲戸閉合図装置

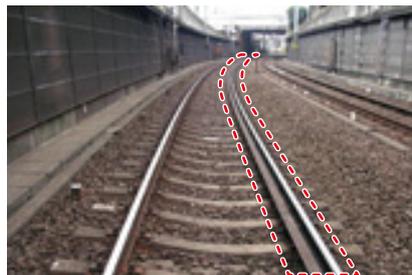
安全対策／設備

脱線防止対策

脱線防止対策として、平成12年3月に発生した営団地下鉄(現:東京メトロ)「日比谷線中目黒駅構内列車脱線衝突事故」を教訓として、急曲線(曲線半径400m未満)など脱線の危険性のある箇所に安全設備を設置しています。

◆ 脱線防止ガード

車輪の乗り上がりを防止して、列車が脱線することを防ぐ設備です。



▲脱線防止ガード

◆ 橋上ガードレール

橋梁上やその付近で列車が脱線した場合、列車が橋梁下に転落しないための設備です。



▲橋上ガードレール